

令和5年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	長崎県立豊玉高等学校	作成者	職名	教頭										
電話番号	0920-58-0399		氏名	松永 あゆ美										
1 年間の実施内容 (取組状況・実績等)														
4月	実施テーマ	不祥事根絶に向けた自己点検・ハラスメント根絶・情報セキュリティ対策の徹底												
取組の評価・改善点														
・不祥事防止やわいせつ行為等防止のためのチェックリストを活用し、全職員が自己点検できた。 ・職員会議や職員研修で、不祥事根絶や情報セキュリティ対策について情報共有を図ることができた。														
7月	実施テーマ	服務規律委員会担当者研修会の伝達研修・体罰根絶												
取組の評価・改善点														
・児童生徒性暴力等の防止の観点から、教育現場で必要とされる知識等を職員が学ぶことができた。 ・グループ討議やチェックリストの活用等により、ハラスメントに関する意識向上や体罰根絶に向けた組織的な指導体制について考えることができた。														
12月	実施テーマ	飲酒運転の根絶・公金等の不正処理の防止												
取組の評価・改善点														
・チェックリストを活用して全職員が自分の運転を振り返り、安全運転への意識高揚を図ることができた。また、飲酒運転事故の代償の大きさについて、資料等で全職員が再認識した。 ・チェックリストを活用して、各自が公金処理の状況を振り返り、適正な処理について再確認した。														
2 服務規律委員会														
委員会名	服務規律委員会													
構成員	所属内委員 (7名)、外部委員 (1名役職等：学校評議員)													
3 年間を通しての計画の達成状況														
年間を通しての取組状況チェックリスト														
(1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号 (ア～コ) で回答ください。(複数回答可)														
<table border="1"><tr><td>ア</td><td>イ</td><td>オ</td><td>キ</td><td>ケ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> その他 (ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。)					ア	イ	オ	キ	ケ					
ア	イ	オ	キ	ケ										
(2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。 ※ 該当する項目に○を記入ください (以下同じ)。														
<table border="1"><tr><td>(○) できた</td><td>() 概ねできた</td><td>() 少し不十分</td><td>() できなかった</td></tr></table>					(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった						
(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった											
(3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。														
<table border="1"><tr><td>(○) できた</td><td>() 概ねできた</td><td>() 少し不十分</td><td>() できなかった</td></tr></table>					(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった						
(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった											
(4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。														
<table border="1"><tr><td>(○) できた</td><td>() 概ねできた</td><td>() 不十分だった</td><td>() 実施してない</td></tr></table>					(○) できた	() 概ねできた	() 不十分だった	() 実施してない						
(○) できた	() 概ねできた	() 不十分だった	() 実施してない											

資料添付 有 ・ 無

別表	校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）
<p>校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。</p> <p>校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。</p>	
<p>【工夫（例）】</p> <p>ア 運営の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職員の指導中心の研修から、サービス規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。 <p>イ 具体的な事例の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。 <p>ウ 外部講師を招いての講話</p> <p>エ 体験的な研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイを取り入れる。 <p>オ グループ討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。 ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。 <p>カ ワークシートの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。 <p>キ チェックリストを作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。 <p>ク ファイリングして保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。 <p>ケ 決意表明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。 <p>コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。 	